

巻 頭 言

ご 挨拶

—会長就任にあたって—

愛知県小児科医会
会長 北條 泰男

私は、平成23年2月27日の愛知県小児科医会臨時理事会において志水会長の後任会長に選出され、3月21日の総会においてご承認を受けました。浅学非才の私がいへんな重責を担うことになりまして、身の引き締まる思いです。皆様のご支援ご指導の下に、精一杯会務を遂行していく所存です。ご助言ご鞭撻をよろしくお願い致します。

ご存じのように愛知県小児科医会は、一昨年の50周年記念式典でも認められましたように、たいへん伝統のある力に満ちた団体であります。厳選された学術講演による例会の回数が253回を数え、内容豊富な充実した会報が100号に迫ろうとしています。多くの諸先輩方の真摯なご努力によって、小児の健康と小児診療の向上発展を目指してきた会です。近くは、前任の志水会長の会務執行時の的確な判断と温厚な運営は、会の発展に大きな力となりました。今回の会長業務引継につきましても膨大な資料をお作り頂き、すべてのことに相談に乗って頂けています。また、それを支えてこられた副会長の先生方ははじめとして役員の方の先生方のご努力も並々のものではないと思います。心から御礼申し上げます。

小児診療は、少子化対策としての子育て支援など社会的な関心も高まり、その重要性を増しています。しかし、医療現場としては、決して小児科医にとって理解ある診療環境ばかりではありません。混迷する医療政策、小児医療への無理解など、私たちが感じる矛盾は多々あります。人手のかかる診療、診療技術の評価の低さ、ワクチン問題など多くの困難の中の診療です。小児科医の仕事を他科の医師や他業種の人に説明するとき、私は3つの特徴を挙げています。子どもの代弁者であること、育児者への説明に熱心なこと、生死に関わる疾患が多い診療であることです。小児診療の重要性と難しさは、もっと社会から理解されてよいと思います。

小児科医会は、同じような環境の中で働く同業者

団体の一つです。お互いに理解し合える仲間だと思います。会員が一人では成し遂げられないような仕事をみんなの力でやっていく場であり、また、志が同じという仲間意識の中に、安心感を感じられる団体と思います。つまり、パワーアップと安心感です。

安定しない政局に振り回されている今日ですが、私たちは患者さんと職員に囲まれた仕事場という城を持っています。勤務医の先生方も開業医も同じです。その現場を大事にして、現場から子ども達の為に何が大切かを考えて理想の姿を訴えていきたいと思っています。このことは政局に振り回されないためにも大切なことと思います。

その為にも、会務遂行には多くの人のお力が必要です。愛知の子どもたちのために、望ましい医療を訴えていくために、愛知県小児科医会の会務についてご理解とご協力をお願い致します。この小児科医会が有ってよかったと感じて頂ける会にしていくことが、私の大事な役目の一つと考えております。強固な仲間意識を持った、前向きな会にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。